

週間漁海況情報—第35号

平成25年9月9日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

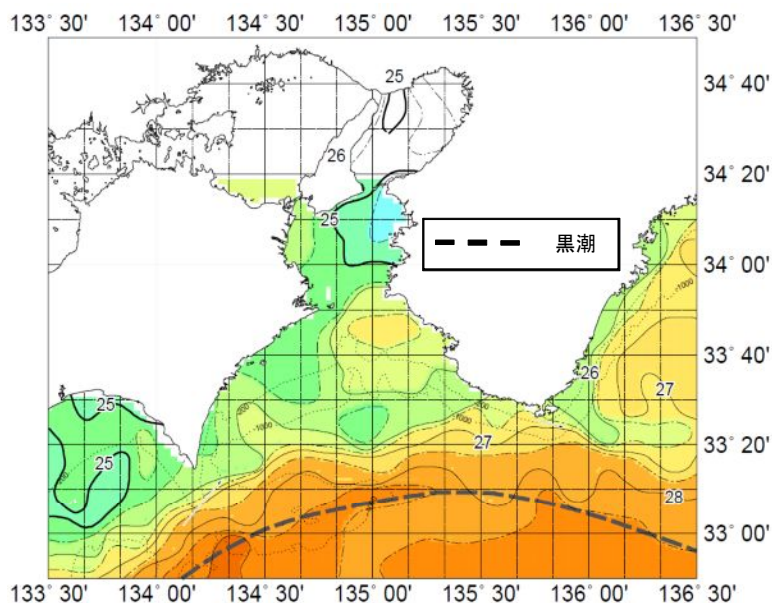
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.9.9）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

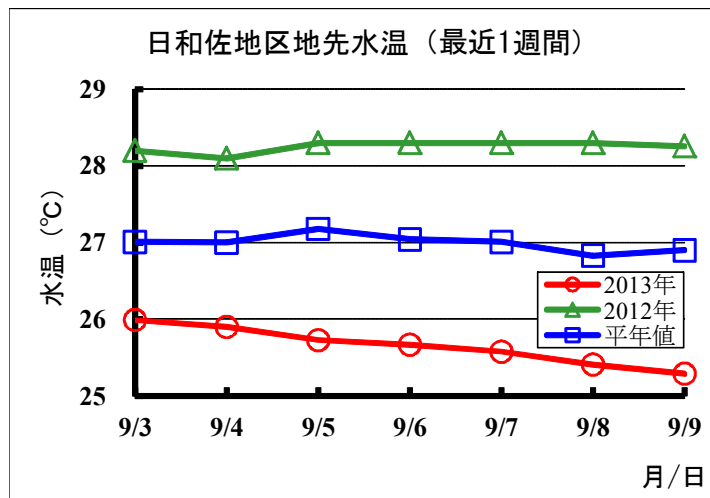
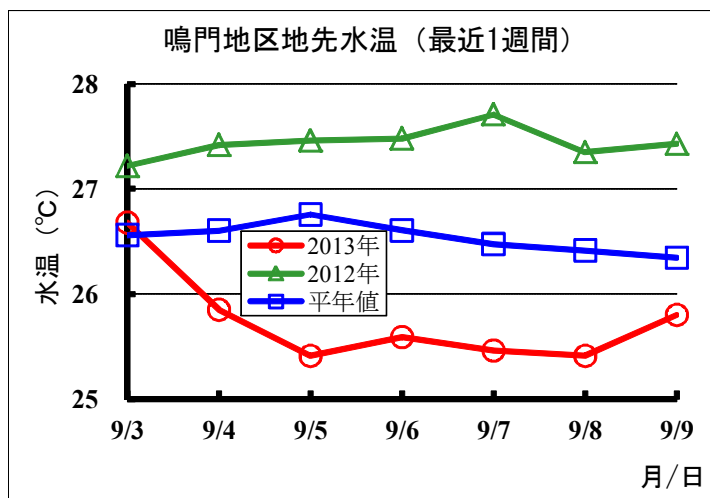
黒潮本流の表面水温は、28～29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で24～25℃台、海部沿岸で25～26℃台である。紀伊水道中央部から紀伊水道外域徳島県沿岸にかけて、25℃台が広がっている。



漁業調査船「とくしま」で9月6日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～30m層が「平年並」の25.7～26.8℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
9/6	今年値	26.8	26.2	26.2	25.7	31.1	31.6	31.8	32.1
	平年偏差	-0.4	-0.3	0.1	0.2	-0.6	-0.1	0.0	0.2
	前年偏差	-1.1	-1.1	-0.8	-0.5	0.0	0.4	0.5	0.8



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並」の25.4～26.7℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の25.3～26.0℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の24.8～25.8℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアカムツが0.3トン（1日1隻あたり17kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが1.0トン（同52kg）、サバ類が0.3トン（同27kg）、ウルメイワシが1.7トン（同103kg）、マイワシが0.8トン（同130kg）、カマス類が1.3トン（同48kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.3トン（同8kg）、紀伊水道で、中主体にサワラが1.2トン（同71kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが15.4トン（同167kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月2日～9月8日

漁業種類別集計表（続）

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	17	293	17	大主体
小型定置網		マアジ	20	1,046	52	小主体
		サバ類	10	270	27	
		ウルメイワシ	16	1,652	103	
		マイワシ	6	782	130	
		カマス類	27	1,307	48	
釣り		イサキ	37	309	8	
	紀伊水道	サワラ	17	1,202	71	中主体
パッチ網		シラス	92	15,375	167	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の9月3日～9月9日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.7トン、大・中主体にゴマサバが0.3トン、カワハギが0.2トン、大主体にキダイが0.4トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.9トン、小主体にサバ類が0.4トン、マルソウダが6.2トン、小小主体にカマス類が0.2トン、釣りで、小主体にキハダが0.5トン、タチウオが0.2トン、紀伊水道では、釣りで、サワラが0.3トン、パッチ網で、シラスが77.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並」の25～26℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の25～26℃台で推移する見込み。